

えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目 14 番地 9 TEL. 048-716-7323

E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-naoya.com/

2021年2号
2021.3.28



会派要望が反映された予算が成立

子ども支援や福祉の強化など『政策フォーラム・市民の声あげお』で要望した内容の一部が実現しました。

政策フォーラム・市民の声あげお『R3 上尾市予算編成における要望書』のうち実現した主な内容

要望事項

- 子ども家庭総合支援拠点の設置
- 成年後見センターの設置
- 中小企業コーディネーターの活用
- 電子図書 of 早期導入
- 同性パートナーシップ制度の創設



- 子ども家庭総合支援センターの設置 ①
- 成年後見センターを開設 ②
- 中小企業サポートセンターの設置
- 図書館に電子書籍を導入
- パートナーシップ宣誓制度の創設

予算での反映

①子ども家庭総合支援センターの設置

1734 万円

児童虐待などの課題についての相談体制を整備し、子育て世代への一体的な支援を行うためにセンターを設置。



開設時期

令和3年4月1日

設置場所

市役所本庁舎5階

②成年後見センターを開設

168 万円

判断能力が十分でなくなっても、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とした成年後見制度の周知・啓発を図り、制度利用を促進するための総合相談窓口を開設。



『上平地区複合施設』について予算修正・見直しを求める決議

3月23日の議会最終日、私たちの会派として提案を行った令和3年度一般会計予算に対する修正案が全会一致で可決されました。これは、前回の市長選の争点にもなった「新図書館複合施設」の事業が事実上撤回された後、西門前の同地への建設が予定されている「上平地区複合施設」の基本設計委託料を削るものです。

さらに同日、機能を見直すことを求める決議についても、全会一致で可決されました。決議内容がきちんと履行されるよう、注視していきます。

上平地区複合施設に配置される各機能を再度見直すことを求める決議(概要)

- ① 上平地区複合施設に配置される各機能を再度見直すこと
- ② 配置される各機能を見直した内容を議会に提示すること
- ③ コロナ禍における社会情勢や財政状況を考慮し、慎重に進めること

上平地区複合施設案

複合化される施設

上平支所
上平公民館図書室

建設費用

約10億円

年間維持管理費用

約5000万円

ライフサイクルコスト

約101億円

市民勉強会+意見交換会
生活にうるおいを提供する
ためにFPができること

ファイナンシャルプランナーとして活躍する古屋禎之さん・石井正人さんを講師にお招きして勉強会を行います。

5/29 (土)

午後2時から

文化センター
202集会室

お申込みはメールもしくは裏面のFAXにて

▶ebihara116@gmail.com

※お名前、ご連絡先をお知らせください。



質問項目

- ① 子ども・子育て支援
- ② 多様性推進施策
- ③ 自然環境・生活環境
- ④ 民間との連携

今回の質問では、市が令和3年度予算などで新たに盛り込んだ事業などと関連させながら、必要だと考える施策について提案を行いました。これまで繰り返し提案を行ってきた内容について、一定の進展がみられるようになってきました。今時点では消極的な答弁であるものについても、必要性を継続して訴えていきたいと思えます。

学校給食への有機農産物の導入

まず目標を定めて導入をすすめるべき

質問

学校給食への有機農産物の導入について、先進自治体では目標を定めて切り替えを実現してきた。上尾市としても導入を行うべきであるが、市長としての見解は。

答弁

導入は地域の魅力を高めることにもつながるものとする。一方で供給量や価格などの課題があるので、県学校給食会やJA等と連携を深め、調査研究していく必要がある。

男女混合名簿

性的マイノリティ支援の観点からも導入を

質問

性的マイノリティの当事者団体からも要望があった混合名簿について、男女共同参画の観点からも重要であり積極的に推進すべきであるが、市長の見解は。

答弁

小中学校における混合名簿については、すでに導入している学校もあるが、児童生徒一人ひとりの人権を尊重しながら、各学校の実情に合わせ推進していく。

その他の質問は、[上尾市議会スマート中継](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/)をご覧ください。

これまで質問で取り上げた内容のうち令和3年度予算で事業化したもの

これまで一般質問で取り上げた内容のなかで、会派としても要望をしていた子ども家庭総合支援拠点の設置や成年後見制度の利用促進を図る中核機関の設置に加え、「子どもの貧困対策計画の策定」「立位保持が困難な障がいをお持ちの方への乳がん検診」について、令和3年度の予算で進展がありました。今後も、皆さんの抱える課題を市に訴えるとともに、課題を解消するために施策を提案していきます。

立位保持が困難な方の乳がん検診

市が指定した病院での乳がん検診に対して全額助成。
 〈対象〉40歳～69歳の女性のうち、身体障害者手帳 肢体不自由(下肢、体幹、運動機能障害)1級・2級、療育手帳 A・A をお持ちの方。

※開始時期や指定される病院など詳細については広報あげお5月号に掲載予定です。

えびはら直矢プロフィール

昭和 62 年 12 月 3 日生まれ。
 ●上智大学法学部卒
 ●首都大学東京社会人類学教室修了。
 国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わっている。2017年に上尾市議会議員に当選(現在2期目)。議会運営委員会副委員長。
 家族:妻、長男(5才)、長女(4才)、次男(2才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見(勉強会にご参加いただける方は「市民勉強会」とご記入ください)